

# “青年漱石と幼い百間がまさかの出会い”

## 山陽学園大学・短期大学公開講座

— 包括連携協定締結記念・岡山市中区役所新庁舎開所記念講演会 —



若き日の夏目漱石(金之助)



旭川河畔にある漱石の猫の碑

### 【講演】 楽しい“ねつ造” 「漱石の忘れもん」裏ばなし

三ツ木 茂さん(元山陽新聞記者:岡山市中区在住)

文豪夏目漱石は東京帝大の学生だった明治25年の夏、岡山市の親戚を訪れ約1カ月滞在しました。三ツ木さんの短編小説「漱石の忘れもん」はこの実話をもとにしたもので、のちに漱石を師と仰ぎ小説家・随筆家となる当時3歳の内田百間(同市中区出身)と青年漱石が旭川で偶然出会う物語。明治期の岡山の人と風景を情感豊かに描き、岡山県の第12回「内田百間文学賞」最優秀賞を受賞。平成27年、山陽新聞に連載されました。

主催：山陽学園大学 / 中区役所

後援：山陽新聞社

定員：150人

申込方法：電話・FAX (氏名・電話番号をお知らせください)

申込先：山陽学園大学・短期大学 (電話 086-272-6254)

(FAX 086-273-3226)

中区役所 総務・地域振興課 (電話 086-901-1601)

(FAX 086-901-1604)

交通手段：※駐車場狭隘のためできるかぎり公共交通機関をご利用ください。

#### 【日時・場所】

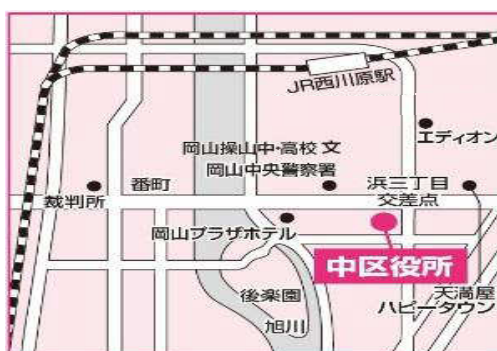
平成29年3月4日(土)

14:00~15:30

(開場 13:30)

中区役所2階「多目的ホール」

(岡山市中区浜3-7-15)



## 山陽学園大学の学生がゆかりの地を巡り

写真取材した様子を講演の中で紹介します。

### 【著者と学生の写真取材】

講演に先立って、 山陽学園大学の学生たちが小説に登場するゆかりの地を著者とめぐり、若き日の漱石、百閒を思い浮かべながら岡山の移り変わりに思いを馳せました。



中区役所新庁舎



夏目漱石の岡山での足跡